

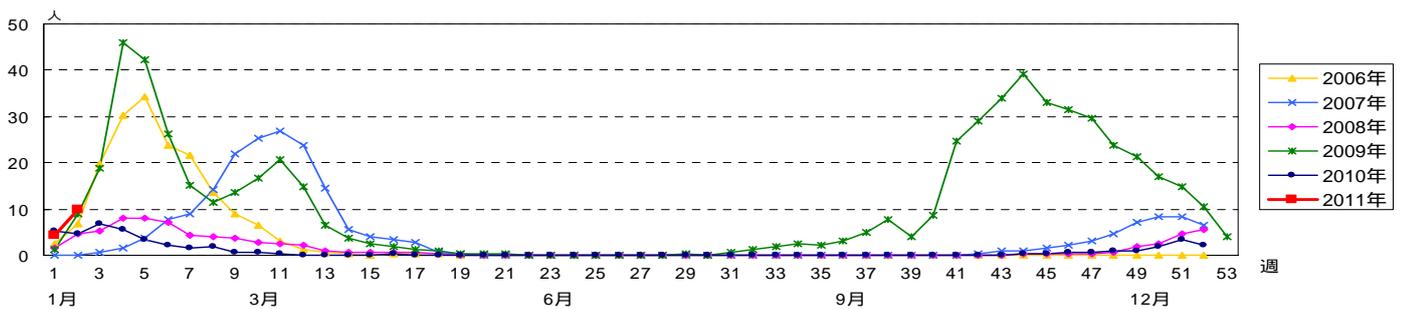
# 横浜市インフルエンザ流行情報第3号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

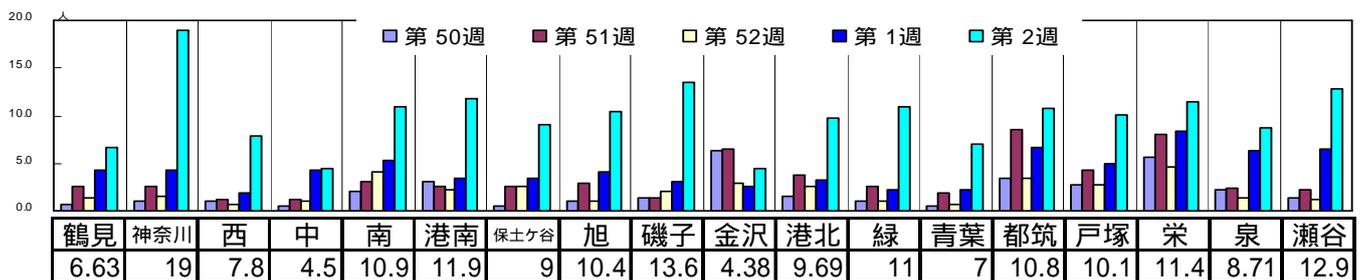
## トピックス

- ・ 第2週(1月10日からの週)で、市内の定点あたり10.03と、注意報レベルです。
- ・ 市内の迅速キットでの結果は、第52週まではB型が3割を占めていましたが、第1週以降では殆どがA型となっています。
- ・ 第1週では、報告者に占める20歳以上の割合が47%と高くなっていましたが、第2週では4割以上が10歳未満です。
- ・ 病原体定点からは、主にA香港とAH1パンデミック(新型)が検出されています。
- ・ 今のところ薬剤耐性を示唆する遺伝子変異は検出されていません。

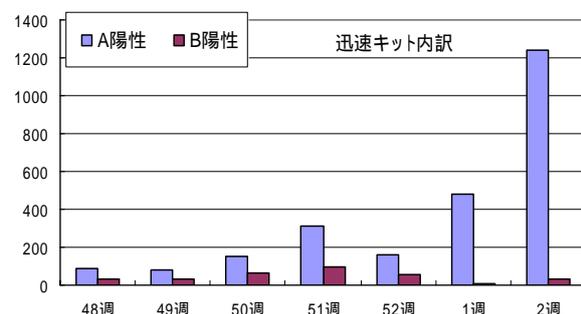
1 市内150か所(小児科91 内科59)の定点医療機関からの報告で、第50週(12月13日～19日)に「流行のめやす」である「定点あたり1」を超えました。第2週(1月10日～16日)では、定点あたり10.03と、注意報レベルです。祝日の1月10日が休診日が多かったことを考慮すると、流行の実態はもう少し大きいと思われます。



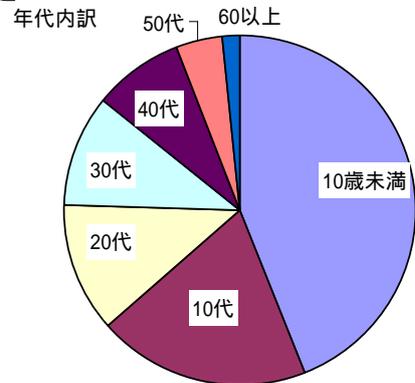
2 行政区別情報:行政区別では、神奈川区が19.00、磯子区が13.6、その他瀬谷区、港南区、栄区、緑区、南区、都筑区、旭区、戸塚区の10区が注意報レベルです。



3 迅速キット内訳:第52週までは、市内3割がB型でしたが、第2週ではA陽性が1238件、B陽性が30件(2%)でした。

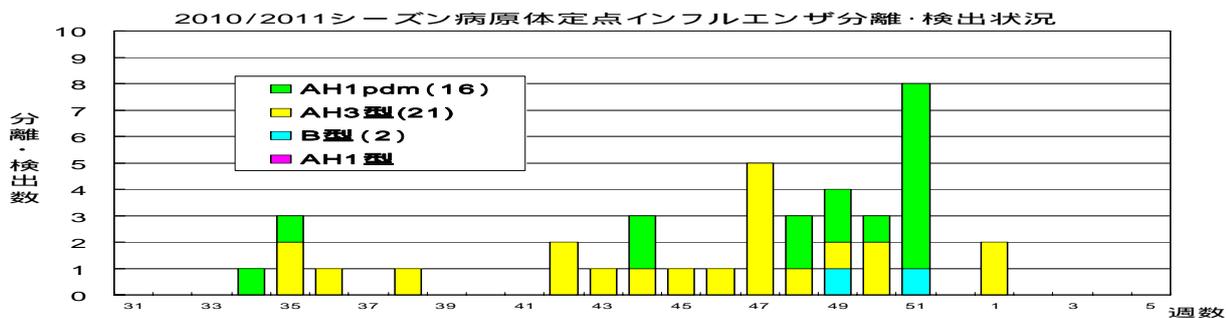


第2週



4 年齢層別集計: 第1週では、20歳以上の割合は47%でしたが、第2週では44%が10歳未満です。

5 病原体検出状況: A パンデミック(新型)と、A 香港が主に検出されています。



6 施設閉鎖情報: 第1週、第2週では施設閉鎖の報告はありませんでした。第3週では現時点で、4 幼稚園、11 小学校、1 中学校、1 高等学校から報告があります。小学校では学年閉鎖で在籍数の約3割が患者として報告される大きな集団の報告も見られます。

7 集団風邪情報: 1月の5件の集団発生ではA 香港が3件、A 新型が1件、A 香港とA 新型が同時に検出されているのが1件でした。

急性脳炎(インフルエンザウイルスによるものも含む)については、感染症法の5類の届出が必要です。届出基準、届出用紙につきましてはこちらをご参考ください。

横浜市衛生研究所ホームページ 届出基準

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/infection/pdf/kijun/go03.pdf>

横浜市衛生研究所ホームページ 届出様式

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/infection/pdf/yousiki/go03.pdf>

【お問い合わせ先】

横浜市健康福祉局健康安全課	TEL045(671)2463
横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課	TEL045(754)9816
同 検査研究課ウイルス担当	TEL 045(754)9804